

(公財)千葉県文化振興財団設立40周年記念
千葉県文化会館リニューアルオープン記念



ワルシャワ国立 フィルハーモニー管弦楽団 ともはる & 牛田智大

指揮／アンナ・スウコフスカーミゴン
©Jean-Baptiste Millot

ピアノ／牛田智大 ©Ariga Terasawa

管弦楽／ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 ©Grzegorz Mart

曲 目 出 演

- ◆ピアノ協奏曲第1番／ショパン
- ◆交響曲第9番「新世界より」／ドヴォルザーク

※曲目は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

- 指揮／アンナ・スウコフスカーミゴン
- ピアノ／牛田智大
- 管弦楽／ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団

令和7年9月6日(土) 開場13:00 開演14:00
千葉県文化会館 大ホール(千葉市中央区市場町11番2号)

【料金】全席指定/S席:12,000円/A席:10,000円/B席:8,000円

U-30(30歳以下):各券半額/小中高生:500円(A席もしくはB席のみ)

※未就学児入場不可。※障がい者の介助者様1名は無料でご鑑賞いただけます。(千葉県文化会館へお問合せください。)

プレイガイド

千葉県文化会館
043-222-0201

6月末まで休館予定のため、受付窓口の
営業日についてはお問い合わせください。



↑ネット予約

千葉県東総文化会館 0479-64-2001
千葉県南総文化ホール 0470-22-1811
青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511

イープラス



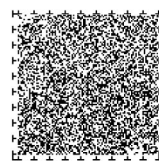
託児サービスがご利用いただけます。

有料 要予約

託児料/0歳・1歳・・・3,000円
2歳以上・・・2,000円

申込・
お問合せ

イベント託児・マザーズ
TEL 0120-788-222



この音声コードをスマホアプリ
(Uni-Voice)で読み取ると音声情報で
ご確認いただけます。

主催/公益財団法人
千葉県文化振興財団

問合せ/千葉県文化会館 TEL 043-222-0201

助成



文化庁

文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

出演者プロフィール

アンナ・スウコフスカ・ミゴン Anna Sułkowska-Migoń



©Jean-Baptiste Millot

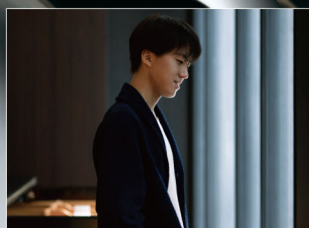
ポーランドのクラフ生まれ。2022年ラ・マエストラ国際指揮者コンクール優勝。以来、ワルシャワ・フィルをはじめとするポーランドの主要オーケストラと定期的に共演。

2023年グシュタード音楽祭指揮者アカデミーにてネーメ・ヤルヴィ賞を受賞。2022~2024タキ・オルソップ指揮者フェローシップ受賞。

2024年1月にはフィラデルフィア管にデビューし、評論家の絶賛を浴びた。

2024/25年シーズンは、ベルン市立劇場で『エフゲニー・オネーギン』の新演出12公演を指揮するほか、ヤナーチェク・フィルハーモニー管、アルスター管など次々とデビューを重ねる。これまでに、ベルリン・ドイツ響、ポーランド放送響、パリ室内管、ニュース・フィルハーモニー、ドレスデン・フィル、オタワ・ナショナル・アーツ・センター管等と共演。今回が初来日となる。

牛田 智大 Tomoharu Ushida



©Ariga Terasawa

2012年、第16回浜松国際ピアノアカデミー・コンクールにて最年少1位受賞。同年3月、ユニバーサルミュージックよりCDデビュー。これまでに、ベスト盤を含む計9枚のCDをリリース。リリースしたCDは、2015年「愛の喜び」以降、続けてレコード芸術特選盤に選ばれている。

これまでに国内外の著名指揮者やオーケストラと共演を重ね、全国各地の演奏会で活躍。2024年1月には、トマーシュ・ブラウネル指揮プラハ交響楽団日本公演に出演。

2018年第10回浜松国際ピアノコンクールにて第2位、併せて聴衆賞およびワルシャワ市長賞を受賞。2019年3月出光音楽賞。2024年リーズ国際ピアノ・コンクール聴衆賞。

ローム ミュージック ファンデーション 2023年度奨学生。江副記念リクルート財団第53回奨学生。

ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 Warsaw Philharmonic Orchestra



©Grzegorz Mart

ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団は、最初の公演を1901年11月5日、新たに建設されたフィルハーモニー・ホールの柿落しとして行った。指揮は楽団の共同創設者にして初代音楽監督兼常任指揮者のエミール・ムリナルスキ、ピアノ独奏はイグナツィ・ヤン・パデレフスキであった。

第一次世界大戦前から第二次世界大戦までの間に、ワルシャワ・フィルはすでにポーランド音楽界の中心的存在、そしてヨーロッパの音楽界においても主要な団体のひとつとなっていた。第二次世界大戦直後、楽団の公演は劇場やスポーツ施設にて行われていたが、1955年2月21日、再建された本拠地（ドイツ軍の空襲によって破壊されたホールのかわりに）フィルハーモニー・ホールが開場し、オーケストラは国立管弦楽団の称号を与えられた。新しい監督ヴィトルド・ロヴィツキのもと、ポーランドを代表するオーケストラとしての地位を取り戻した。

1955年から58年にはボードン・ヴォディチコが芸術監督に就任、その後再びロヴィツキが就任し、77年からカジミエシュ・コルト、2002年からアントニ・ヴィットが総監督兼芸術監督に就任した。13年からヤツェク・カスプシク、19年からアンドレイ・ボレイコが就任。24年からクシシュトフ・ウルバンスキが芸術監督を務めている。

今日、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団は、世界的人気と高い評価を確立。5つの大陸で150以上ものコンサート・ツアーを行い、世界の主要なコンサート・ホールで演奏している。ショパン国際ピアノ・コンクールや“ワルシャワの秋”現代音楽祭でも定期的に演奏を続けている。ポーランド放送や国営テレビ（TVP）、ポーランド国内外のレコード・レーベル及び映画会社との録音も行っている。

ペンデレツキやシマノフスキの壮大なスケールの声楽曲や器楽曲で2013年グラミー賞（6つのノミネーションを含む）を受賞したほか、ディアパソン・ドール、ICMA（国際クラシック音楽賞）、グラモフォン賞、レコード芸術アカデミー賞、クラシカル・インターネット・アワード、カンヌ・クラシカル・アワード、ポーランド・フォノグラフィック・アカデミーのフレデリック・アワードなど数多くの栄誉ある録音関係の賞を受賞している。

交通アクセス

千葉県文化会館

〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号

★JR千葉駅より／千葉都市モノレール乗車約6分、県庁前駅下車徒歩約7分

★JR千葉駅前より／京成バス⑦大学病院行き 乗車約10分、
郷土博物館・千葉県文化会館 下車徒歩約2分

★JR本千葉駅より／徒歩約10分

★京成千葉中央駅より／徒歩約20分

※駐車台数に限りがございますので、公共の交通機関をご利用ください。

